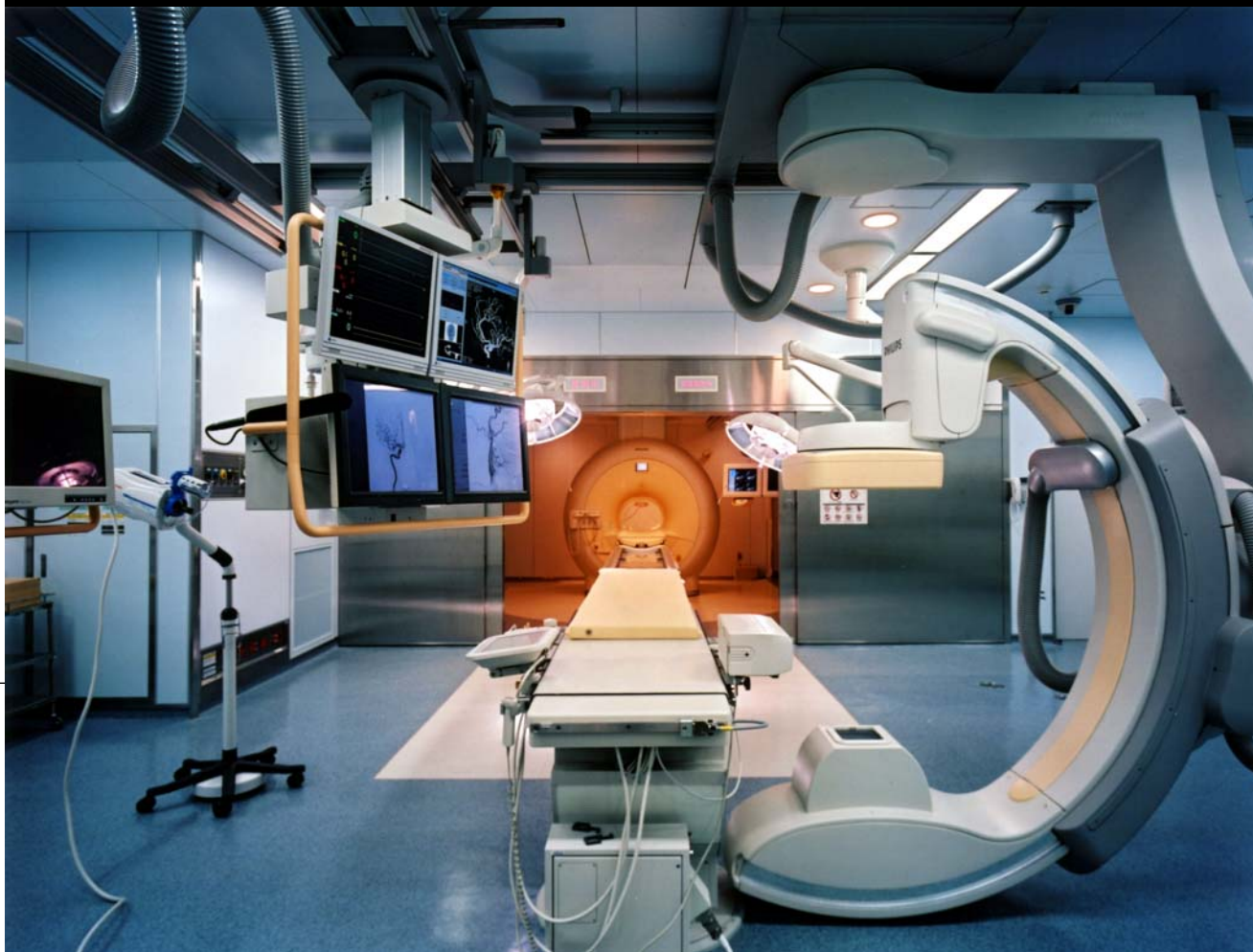


MRXO

世界初の施設を目指して



なぜMRXOはERの中にあるのでしょうか？

手術室としての機能を優先すれば手術部門への配置が妥当ですが、その場合各モダリティの回転率は著しく低下してしまいます。

当計画では、MRXOを敢えてER内に設置して、夜間や休日に殺到する救急患者の診断に活用、また日中は放射線科のIVRと脳神経外科の手術に利用しています。

各機器はER・IVR・脳外手術での使用頻度を詳細に検討したうえで、ER側に救急での使用頻度が高いCTを配置、手術・血管造影室、MRIの順にレイアウトをしています。また、各検査室は各々シャールドアで区画されており、それぞれスタンドアロンとしても稼動可能としていますので、MRXOとしての使用時以外には通常の検査室として使用することができます。

この方式を採用する事によって、設置された機器を十分に活用する事が可能となり、高いコストパフォーマンスを実現すると同時に、常に最新の機器への更新を経済ベースで後押しすることで最高の環境を維持できると考えました。

